

みなとオアシス牛窓 “日本のエーゲ海”を満喫

牛窓は、温暖な気候とオリーブ栽培、瀬戸内海の多島美の景観から、「日本のエーゲ海」と呼ばれています。青い海と島々の眺望が美しい牛窓は「恋人の聖地」に認定されるなど、人気のスポットが多数あります！



【代表施設】 瀬戸内市観光センター 瀬戸内きり館 ①



- ★瀬戸内市の観光案内所
- ★市内の観光情報や映画・ドラマ・CMなどのロケ地情報を紹介。
- ★物産コーナーでは、瀬戸内市の特産品が購入でき、前島フェリーの待合室も備えています。

牛窓海遊文化館 ②



- ★朝鮮通信使に関する文化交流資料館。
- ★文化遺産や当時の華やかな外交使節団・朝鮮通信使の行列を、ジオラマで再現・展示。
- ★実物の牛窓だんじりを2基展示。

牛窓オリーブ園 ③



- ★約2,000本ものオリーブの木が植えられています。
- ★高台からの眺めは絶景！

ザ・ホテルリマーニ&スパ ④



- ★日本のエーゲ海を体験できるリゾートホテル。
- ★海の駅にも登録されています。

牛窓港綾浦物揚場 ⑤



- ★中小型船の係留、チャーターフェリーの発着に活用されています。

瀬戸内市立美術館 ⑥



- ★海を望むことができる美術館。
- ★「オリーブの画家」と呼ばれた佐竹徳画伯などの作品を展示。

岡山県牛窓ヨットハーバー ⑦



- ★西日本最大級のヨットハーバー。
- ★クラブハウスには、シャワー室、レストラン等も完備。

前島フェリー乗り場 ⑧



- ★前島フェリーの発着所で、観光案内所としても利用できます。
- ★野菜など地場産品を販売。
- ★レンタサイクルもあります。

うし まど

みなとオアシス牛窓 “朝鮮通信使”の歴史

古くから潮待ち風待ちの港町として発展してきた牛窓には、参勤交代の大名や朝鮮通信使が寄港したという歴史があり、当時をしのぶ歴史的な遺産が数多く残されています。

朝鮮通信使は、豊臣秀吉による文禄・慶長の役の後、断絶していた李氏朝鮮から1607年(慶長12年)に派遣された外交使節団で、以来、将軍の代替わりや世継ぎの誕生に際して、朝鮮側からの祝賀使節として約200年の間に12回にわたって来日し、日本と朝鮮両国の平和的な関係の維持構築や文化の交流に大きく貢献したものです。

牛窓は、江戸へ向かう使節団の寄港地として指定を受け、岡山藩が接待をする港として整備されました。使節団は牛窓に11回寄港し、そのうち9回は上陸して宿泊しています。

「みなとオアシス牛窓」内では、地元団体により、この使節団を再現したイベントを毎年11月上旬に開催しています。

※平成29年10月に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の「世界記憶遺産」に日本の関係自治体等で作るNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会と韓国側の財団法人釜山文化財団が共同申請した『朝鮮通信使に関する記録』が、登録されました。
登録された記録は、日韓合わせて111件333点にのぼり、この中には、牛窓に寄港した際に通信使が宿泊した牛窓の本蓮寺に残る「本蓮寺朝鮮通信使詩書※」（9幅）も含まれます。



出典:大垣市

牛窓秋祭り



牛窓の総鎮守である牛窓神社の秋の祭礼で、神輿や船形のだんじりが巡行し、朝鮮通信使の影響が見られる唐子踊や太刀踊が奉納され、多くの見物客で賑わいます。

開催時期：10月第4日曜日
開催場所：瀬戸内きり館、牛窓海遊文化館周辺

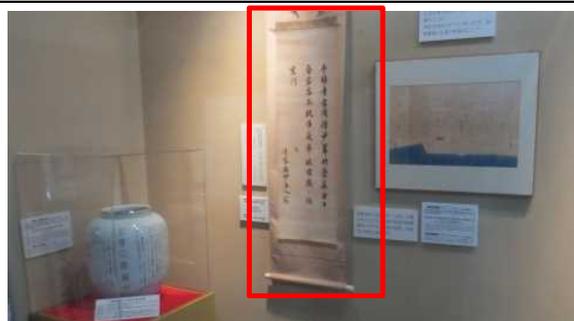
瀬戸内牛窓国際交流フェスタ



韓国総領事や友好都市の市民を招き、華やかな民族衣装を纏った総勢約200名による朝鮮通信使行列を再現するとともに、韓国の伝統芸能等を披露する日韓文化ステージなどが行われます。

開催時期：11月上旬
開催場所：牛窓海遊文化館周辺（牛窓町公民館 他）

本蓮寺



「本蓮寺朝鮮通信使従事官申濡詩書」レプリカ
(牛窓海遊文化館内)

「本蓮寺朝鮮通信使詩書」

※本蓮寺は江戸時代初期に通信使の接待場所になっており、通信使が詠んだ詩書などが伝えられています。そのうち、1643（寛永20）年、1655（明暦元）年、1711（正徳元）年に来日した正使、副使、従事官、製述官、書記が詠んだ詩書で筆者がはっきりわかっている9幅についてユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

詩書の内容は、牛窓や本蓮寺の情景に触れるもので通信使と地域の交流を明確に示す大変貴重な資料です。そのうちの1つである「朝鮮通信使従事官申濡詩書」のレプリカは牛窓海遊文化館に常時展示されています。